

第29回マイクロエレクトロニクスシンポジウム (MES 2019)

ミッションフェローセッション

2019年9月13日 (金) 9:00 - 11:40

学生の方は
どなたでも
無料!




未来を変えるクルマとは

近年、EV、自動運転、コネクテッド、MaaSなどをキーワードとして、自動車の将来像が様々な形で論じられており、あるレベルでは既に実用化が始まっています。本セッションでは、エレクトロニクス領域で、今後、本当に取り組むべき課題は何なのかをあらためて問うことを目的に、実際に将来のクルマ作りに携わっている3名の講師をお招きし、特別講演とパネルディスカッションを企画しました。多くの方のご参加をお待ちしています。

過去開催の様子：https://web.jiep.or.jp/event/pdf/20180907_MES_MF.pdf



- 日時 : 2019年9月13日 (金) 9:00 - 11:40
 場所 : MES2019 C会場 (大阪大学 吹田キャンパス 工学研究科 R1棟 3階 311室)
 参加資格 : MES2019参加登録者はどなたでも!
(学生はMES2019未登録でも、無料で参加可能です)
 主催 : 一般社団法人エレクトロニクス実装学会(JIEP) ミッションフェロー

プログラム		第1部 特別講演	
9:00 }	<p>◆モビリティ・イノベーション</p> <p>自動運転、コネクテッドカー、シェア・サービス、電動化といった自動車における新たな潮流に加えて、MaaSとして、公共交通を含めた利用者にとっても社会にとっても最適な移動の実現に向けた取り組みが進行しています。本講演では、これらの最近の動向について紹介します。</p>	<p>東京大学 モビリティ・イノベーション 連携研究機構長 生産技術研究所・ 次世代モビリティ研究センター 教授 須田 義大</p>	
9:35 }	<p>◆自動車メーカーから見たこれからのクルマ社会とそれを支える技術</p> <p>将来のクルマ社会に向けてグローバルな課題を共有し、マーケットの仮説に基づく技術開発の重要性について説明します。その上で、今後のトレンドとして、CO2規制の強化や安全性能に対する要求、自動運転やコネクテッドがもたらす新しい価値について紹介し、それを支える技術動向として、車の電動化やバッテリー技術の進化と課題について解説します。</p>	<p>日産自動車(株) 商品企画本部 AMI商品企画部 山際 正憲</p>	
10:10 }	<p>◆ICTが切り拓く、つながるクルマの未来</p> <p>交通問題の解決のため次世代モビリティ技術への期待が高まっています。本講演ではコネクテッドカーや自動運転システムに利用される通信技術と、第5世代移動通信システム(5G)を使うメリットなどについて解説致します。</p>	<p>KDDI(株) 技術統括本部 技術規格本部 コネクテッド推進室 室長 鶴沢 宗文</p>	
第2部 パネルディスカッション			
10:50 }	<p>◆未来を変えるクルマとは</p> <p>司会 富山県立大学：畠山 友行 パネリスト 東京大学 須田 義大、日産自動車(株) 山際 正憲、KDDI(株) 鶴沢 宗文 (株)東芝 樋口 和人、サイバーダイナミクス(株) 子林 みどり、(株)図研 長谷川 清久</p>		
11:40			



一般社団法人エレクトロニクス実装学会 秋季大会
 第29回マイクロエレクトロニクスシンポジウム

<https://web.jiep.or.jp/event/mes.html>

